

千葉県山岳連盟 スポーツクライミング部 ユース選手強化要綱

選手強化委員会

I 目標

- (1) 国民体育大会入賞
- (2) 未来のアスリートの発掘・育成・強化

II 強化・育成の方針

- (1) 世界大会を目指す選手達が切磋琢磨し、全国大会で勝てるチーム作りを通し、個々の選手の強化を図る。
- (2) 礼節を重んじ、千葉県を代表するに相応しい選手となるよう育成する。

III 強化選手・育成選手の対象

- (1) 原則として、小学3年生から高校3年生を対象とする。
- (2) 強いクライマーになりたいという意欲、向上心をもってトレーニングに打ち込むことができ、かつ保護者の協力が得られる者を対象とする。

IV 強化選手・育成選手の指定

以下の条件①～④のいずれかを満たす者を千葉県競技力向上推進本部事業で定める千葉ジュニア強化選手に指定する。

- ① 4月の国体予選の結果、少年男女の代表2名および予備選手1名
- ② 全国大会の成績により、JMSCA推薦選手となった者
- ③ 千葉県山岳連盟が主催する大会で3位以内に入った者
- ④ 千葉県代表として、JMSCAが主催・共催する全国大会、もしくは関東地区山岳連盟が主催する関東大会に出場した者

以下の⑤については次代の強化選手候補として育成選手に指定する。

- ⑤ 近隣の都県岳連主催大会、市岳連主催大会、各ジム主催大会の成績上位者で、かつ、随時実施するセレクション（目安は小学生で5.12、中高生で5.13をRPできる能力を有すること）により、複数の選手強化委員の推薦を受けた者

V 指導者の指定

- ① 国体監督経験者（強化計画の策定、安全確保に関する責任者）
- ② 現役の国体成年選手、国体選手経験者（主に技術指導）
- ③ 選手強化委員会が推薦するトレーナー（主にフィジカルトレーニング、コンディショニング、身体のケアの指導）
- ④ 選手強化委員会が推薦する指導者（主に安全指導）

VI 強化の内容

- (1) 幕張総合高校クライミングウォールでの練習会を中央練習会として位置づけ、強化選手・育成選手に対して一貫指導を行う。
- (2) 中央練習会での指導内容や指導方法は、前項Vで指定された複数の指導者の協議により決定する。